

「令和4年 九都県市のきらりと光る産業技術」表彰企業一覧

	製品・技術の名称 企業名	製品・技術の概要
埼玉県	現地発生土砂の固化・改質技術  インバックスグループ	廃棄されていた建設発生土や災害で発生した土砂を、建設材料として様々な構造物に活用できる新技術である。 環境負荷低減・工期短縮・コスト縮減といったメリットがあり、主に土石流を防ぐ砂防えん堤の材料として1,000件近い導入実績がある。 リサイクル土を作る技術とは異なり、コンクリートの代わりとして構造物を造るために土砂を高強度化する、軟弱地盤を安定化する、再泥化しない土砂に改質する等、用途に応じて品質をコントロールできる点が特長である。 今後は河川や道路といった他分野においても本技術の活用を進め、全国の廃棄土砂をゼロを目指していく。
千葉県	addSound  株式会社あおごち	骨伝導スピーカーを応用し、耳を塞がず周囲音を確認できる、オートバイ専用のヘルメット装着型Bluetoothオーディオである。 加速度センサーの搭載により、グローブや手袋をしていても、ヘルメットを軽く叩くだけで簡単に再生・停止の操作が出来る点が特長である。 ライダーの安全を最優先しつつ快適・簡単を実現していく。
東京都	橋梁たわみ計測システム「INTEGRAL PLUS」  株式会社TTES	人口減少が進み橋梁技術者の不足が進む一方で、管理する老朽化橋梁が増える社会において、橋梁の健全性のひとつの指標である「たわみ」を簡易に取得できる技術である。 橋の上にIoT端末を置くだけの安全な作業で、1橋梁あたり15分で計測できる点が特長である。 橋は万国共通のインフラであることから、日本国内のみならず、アジア・アフリカ諸国にも販売していく。
神奈川県	立ち仕事の負担を軽減する革新的アシストスーツ「アルケリス」  アルケリス株式会社	足に装着してスネとモモで体重を分散して身体を支えることで、立ち仕事による足腰の負担を軽減するアシストスーツである。 装着したまま移動することが可能なため、幅広い業種での立ち仕事現場に導入可能である。 製品は、電源やモーターなどを使わないメカニカルな機構で構成されており、身長に合わせたサイズ調整も可能で、装着も容易に行うことができる点が特長である。 販売開始以来、改良を続け、国内の医療施設や工場等に多くの導入実績があり、海外展開も進めている。
横浜市	マリナー管理システム「eMarineクラウド」  株式会社タック・ポート	マリナー業務のDX化を推進するクラウドシステムである。 船艇の入出港状況や整備履歴、売上などを管理でき、分かり易い画面で操作することができることに加え、本製品はクラウドシステムのため、インターネット環境があれば簡単に導入することができ、全国各地でも迅速なサポートを受けることができる点が特長である。 販売先は50艇以上係留するマリナーを想定しており、全国のマリナーに販売していく。
川崎市	ダイプラストウッド  第一パイプ工業株式会社	廃電線被覆材などのプラスチック廃材をリサイクルした100%再生プラスチック製品である。 独自の原料管理技術と成形技術により、従来の再生プラスチックのイメージを変える強度と耐久性を実現した点が特長である。 鉄道、自動車、建設等の産業用部材としての需要があることに加えて、サッカーゴール転倒防止用ウエイト(重り)など幅広く活用されている。
千葉県	卓上式「コンパクト剥線機」  三立機械工業株式会社	使用済みの電線を銅と被膜に分け、銅の再利用を可能とする製品である。 障害者の就労支援を目的に、座ったまま安全に作業が出来るコンパクトなデスクトップタイプとなっている点が特長である。 障害者の就労支援と銅を中心とした貴重な金属資源のリサイクルを両立させ、持続可能な社会の構築に貢献するものである。
さいたま市	航空宇宙、防災、交通等の社会インフラを支える「アンテナ・高周波フィルタのオーダーメイド」技術  アンテナ技研株式会社	HF帯からミリ波帯まで広範囲の周波数帯域に対応するアンテナをオーダーメイドで開発、製品化及び、販売を行う。 電磁界理論、材料選択、機械設計への知見と電磁界解析等の高度なシミュレーション技術に基づき、顧客の要求に合わせた製品を開発供給している点が特長である。 特に、人口衛星に搭載するアンテナは、運用方法等に合わせた特殊な仕様に対応することが求められ、これらを実現するための高度な技術力を有する。 超小型衛星搭載用アンテナや小惑星探査機「はやぶさ2」のローバーに搭載したアンテナの開発を手掛けるなど、豊富な実績を有する。
相模原市	汎用ロボットベース  株式会社F-Design	自動車等のサスペンションの技術を応用した走行ロボットのプラットフォームである。 屋内の走行ロボットの課題である段差走行において、点字ブロックやフロアマットを走行できるだけでなく、振動や衝撃を吸収し、電子機器や搭載物を保護することができる点が特長である。 顧客の開発用途に応じたカスタマイズ設計が可能で、開発期間の短縮にもつながるものである。